

## 平成 29 年度利益相反自己申告チェックシート

「平成 29 年度 医学研究に係る利益相反 自己申告書」は、

・平成 29 年 4 月 1 日現在において、平成 29 年 3 月 31 日以前から継続して行っている  
「**学長が指定する国等の研究課題**」がある

・平成 29 年度中において、新たに開始した「**学長が指定する国等の研究課題**」がある  
**研究者の方全員に、ご提出いただく書類**です。

- 次の各項目を確認し、がつく項目がある場合は、本学の利益相反管理規程に基づき、**その内容を学長に申告する**必要があります。
- **研究課題に関連する産学連携活動等がない場合も、ないという事実を申告してください。**
- 自己申告書の記載に当たっては、「医学研究に係る利益相反 自己申告書」記載要領」を参照してください。

### (1) 研究課題

- 現在、「学長が定める国等の研究課題」（共同研究、受託研究（治験を含む）、寄附講座における研究、厚労科研究費補助金、厚生労働行政推進調査事業費補助金、研究助成金、その他の医学研究（AMED 等）の主任研究者または分担研究者として研究を行っている。

※がついた場合は、

- ① 自己申告書の I 「1 現在行っている研究活動」に研究課題等を記載して、申告書を提出する必要があります。

※がつかなかった研究者の方は、自己申告書の提出は不要です。

### ➤ 上記にがついた場合

- 「1 現在行っている研究活動」に記載した研究課題の中に、互いに関連する研究課題がある。または、申告日から起算して 1 年以内に終了した研究課題の中に、「1 現在行っている研究課題」に記載した研究課題と関連する研究課題があった。

※がついた場合は、

- ② 「1 現在行っている研究活動」に記載した研究課題ごとに、関連する研究課題について、1 の表左欄の番号（①、②・・・）を「**関連する研究課題番号欄**」に記入して申告する必要があります。
- ③ 申告日から起算して 1 年以内に終了した研究課題の中に、1 に記載した研究課題と関連がある課題があった場合は、「2 昨年度で終了した研究活動」に研究課題等を記載し、2 の表左欄の（ア、イ・・・）を 1 の表に記載した当該研究課題の「**関連する研究課題番号**」欄に記入して申告する必要があります。

➤ 上記に☑がついた場合

- 「関連する研究課題」として申告した研究課題で、申告日から起算して1年以内に受け取った研究費の額が200万円を超える。

※☑がついた場合は、

- ④ 上記②・③により記載した関連する研究課題のうち、200万円を超える研究については、1の表に記載した当該研究課題の「申告対象番号」欄にその番号を記入して申告する必要があります。

(2) 産学連携活動（研究活動以外）

自己申告書のⅠ「1 現在行っている研究活動」に記載した研究課題と関連する、次の産学連携活動がある。

- コンソーシアム：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 実施許諾：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 権利譲渡：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 技術研修：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 委員等の委嘱：過去1年間に委嘱を受けた実績がある。
- 訪問研究員の受入れ：過去1年間に受け入れた実績がある。
- ポストドクトラルフェローの受入れ：過去1年間に受け入れた実績がある。
- 奨学寄附金：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 依頼試験・分析：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。
- 機器の提供：過去1年間に同一組織からの受入合計額が200万円を超える。

※☑がついた項目は、自己申告書のⅡ「1 産学連携活動（研究活動以外）」にその内容を記載してください。

- また、関連する研究課題をⅠの1「現在行っている研究活動」の表左欄の番号（①、②・・・）により「関連する研究課題番号欄」に記入して申告する必要があります。

(3) 外部活動（診療活動を除くすべてを記載）

自己申告書のⅠ「1 現在行っている研究活動」に記載した研究課題と関連する、次の外部活動がある。

- 役員就任その他の兼業：過去1年間に活動実績がある。

※☑がついた場合は、自己申告書のⅡ「2 外部活動（診療活動を除くすべてを記載）」にその内容を記載してください。

- また、関連する研究課題をⅠの1「現在行っている研究活動」の表左欄の番号（①、②・・・）により「関連する研究課題番号欄」に記入して申告する必要があります。

(4) 産学連携活動の相手先のエクイティ

- 自己申告書のⅠ「1 現在行っている研究活動」に記載した研究課題と関連する産学連携活動の相手方企業のエクイティを保有している。(出資金、未公開株の保有、公開株の保有、ストックオプションの保有、受益権の保有において、持分比率として全エクイティのうち5%の持分を保有している、または、換価した場合に100万円以上の経済的価値がある。)

※がついた場合は、自己申告書のⅡ「3 産学連携活動の相手先のエクイティ」にその内容を記載してください。  
また、関連する研究課題をⅠの1「現在行っている研究活動」の表左欄の番号(①、②・・・)により「関連する研究課題番号欄」に記入して申告する必要があります。

(5) 企業・団体からの収入(診療報酬を除くすべてを記載)

- 過去1年間に、研究課題に関連を有する同一企業・団体からの報酬・給与、ロイヤリティ、原稿料、講師謝礼等の収入合計額が100万円を超える。

※がついた場合は、企業・団体ごとに、自己申告書のⅡ「4 企業・団体からの収入(診療報酬を除くすべてを記載)」に記載し、申告する必要があります。

(6) 申告者の家族の状況

- 当該申告者と生計を一にする配偶者及び一親等の親族(父母・義父母・子)がいる。

※がつかないときは、「無」と申告し、配偶者等の「1 外部活動(診療報酬を除くすべて)」や他の項目について、記載は不要です。

※がついた場合は、

- ① 自己申告書のⅢ「申告者の家族の状況」の「当該申告者と生計を一にする配偶者及び親族(父母・義父母・子)」の欄に、「有」と申告
- ② その下の欄に、その者の氏名、申請者との続柄を記入
- ③ 「1 外部活動(診療報酬を除くすべて)」、「2 産学連携活動の相手先のエクイティ」、「3 企業・団体からの収入(診療報酬を除く)」の各項目について、「有」又は「無」を申告
- ④ 1から3の中に「有」に該当するものがある場合は、その内容を記入(記載する内容は、上記の(2)から(4)までと同様)